

## 江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成26年度第1回 第2分科会（健康、福祉分野）
日時	平成26年10月20日（月） 午後1時30分～午後4時
場所	江南市防災センター 2階 研修室2
出席者	市民委員 小椋 雅江、杳名 珠子、黒岩 義光、馬場 紀久世、社本 亘、 松尾 昌之、渡部 敬俊
	市職員 川田 保、村井 篤、貝瀬 隆志、倉知 江理子、本多 弘樹
傍聴者	なし
議題	1. 会議の公表及び公開について 2. 今年度のまちづくり会議について 3. 委員の紹介 4. 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）について 5. 第2回の会議日程について
資料	資料1 江南市まちづくり会議委員名簿 資料2 会議の公表及び公開について 資料3 今年度のまちづくり会議について 資料4 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）

### ◆ 会議結果 ◆

#### 1. 会議の公表及び公開について

- ・江南市市民参加条例が制定され、平成26年度から会議の開催にあたっては、開催の事前公表、会議の公開、会議録の公表が義務付けられたことについて、資料2に基づき、行政経営課主幹より説明がありました。

#### 2. 今年度のまちづくり会議について

- ・まちづくり会議の目的、役割、今後のスケジュール等について、資料3に基づき、総務部長より説明がありました。

#### 3. 委員の紹介

- ・4月の人事異動により変更のあった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

#### 4. 戦略計画達成状況報告書（まちづくり評価シート）について

##### 〔柱1〕 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保

- ・資料4に基づき、委員（高齢者生きがい課長）より説明がありました。

##### 〔全体目標〕 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

- ・高齢者がいつまでも元気であることは願うことであるが、目標に掲げるように、高齢者の誰もが生きがいを持って生活を送れるようにしていただきたい、との意見があり、文章を修正することにしました。

##### 〔個別目標①〕 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

- ・介護予防事業への参加状況について質問があり、基本チェックリストを21,082人に送付して、13,091人からの回答があり、そのうち、二次予防事業対象者3,008人を抽出し、介護予防事業に延べ137人

の参加がありました、との説明がありました。

- ・二次予防事業対象者 3,008 人に対して、介護予防事業へ 137 人しか参加していない状況について質問があり、二次予防事業の開催会場が限定されていることで、遠方の対象者が参加できなかったものと考えているため、今後は、開催会場を増やすことで、参加しやすい体制を整えるとともに、広報やホームページでの周知と地域包括支援センターとの連携により、対象者の参加意欲向上を図っていきます、との説明がありました。
- ・介護予防事業の参加者からは、個々の体調に合ったメニューにより、無理せず回復することができ、また、参加者同士の交流により親睦が深まることで、心身ともに元気になることができるとの声があるため、多くの方が介護予防事業へ参加できるような体制を整えていただきたい、との意見がありました。
- ・高齢者に占める要介護者の割合について質問があり、平成 26 年 3 月 31 日現在では 3,412 人の方が介護認定を受けており、県内市町村との比較状況は次回の会議でお示しします、との説明がありました。
- ・住宅改修に係る補助金について質問があり、20 万円までの住宅改修費用に対して介護保険が 9 割を負担するもので、手すりの取り付けが主な内容で、他に廊下、浴室、便所、床の段差解消です、との説明がありました。
- ・高齢者人口に占める要介護者の割合、介護保険サービスを利用している割合の指標について質問があり、平成 25 年度に向けて、団塊の世代が 65 歳に到達し、各指標の分母となる人数が急増しているため実績値が減少しています、との説明がありました。

### **【個別目標②】 高齢者が在宅で安心して暮らしている**

- ・在宅寝たきり老人等紙おむつ支給事業について質問があり、要介護 3、4、5 の認定を受けた方のうち、自宅で暮らしている方に対して、紙おむつ購入の助成をしています、との説明がありました。
- ・目標達成のための今後の展開方針について、地域包括支援センターを中心に、市の関係課担当職員の支援・連携をより一層充実していただきたい、との意見があり、文章を修正することにしました。
- ・ひとり暮らし高齢者等の見守り支援について質問があり、見守りが必要とされるひとり暮らし高齢者等に対して、民生委員による巡回訪問をお願いしています、との説明がありました。

### **【個別目標③】 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている**

- ・シルバー人材センターの登録者数の減少について質問があり、定年後の再任用・再雇用により、社会で活躍する 65 歳以下の高齢者が多いことに加え、シルバー人材センターの受注が減少していることで、登録者が減少しています、との説明がありました。
- ・老人クラブの会員数の減少について質問があり、市職員が、市老人クラブ連合会役員会に出席して支援するとともに、市老人クラブ連合会には、運動会、グランドゴルフ大会など、大勢の方が参加できるような催しを開催することで、会員の確保に力を入れていただいています、との説明がありました。
- ・市老人クラブ連合会未加入団体に対する支援策について質問があり、市の用意する講演会や説明会の講師派遣をすることができます、との説明がありました。

## **【柱 2】 地域で安心して子育てできる環境づくり**

- ・資料 4 に基づき、委員（子育て支援課長、福祉課長）より説明がありました。

### **【個別目標①】 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている**

- ・保育料の滞納について質問があり、平成 25 年度の保育料収納率は 98.8%で、額にして 430 万円の滞納がありました、との説明がありました。
- ・病児病後児保育について質問があり、市内に利用できる施設はないため、大口町、小牧市、岩倉市にある施設を利用していただき、助成金を出す方法で対応しています、との説明がありました。

- ・親が病気になった際の子どもの預かりについて質問があり、ファミリーサポートセンターや一時保育を利用することができます、との説明がありました。
- ・学童保育施設の整備について質問があり、今年度、宮田小学校学童保育所の整備、門弟山小学校学童保育所の設計を実施する予定であり、他の学童保育所整備については、小学校の敷地に整備できるよう、教育委員会と協議していきます、との説明がありました。
- ・平成 27 年 4 月に施行予定である児童福祉法の改正により、学童保育の対象が現行の小学 3 年から小学 6 年まで拡大されることで、学童保育所に不足を生じることが明確であり、学童保育も小学校を所管する教育委員会で担当するなど、組織の枠組みの見直しも含めた、早急な対応をしていただきたい、との意見がありました。

## 5. 第 2 回の会議日程について

- ・第 2 回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第 2 回> 1 1 月 1 2 日 (水) 午後 1 時 3 0 分～

## 6. その他

- ・松尾分科会長、社本副分科会長、高齢者生きがい課長に、1 2 月 2 4 日開催予定のまちづくり会議（全体会議）への出席のお願いが事務局からありました。